



大牟田市は石炭産業を中心とした鉱工業都市として発展してきましたが、平成9年にはまちの発展の礎であった三池炭鉱が百有余年に及ぶ歴史に幕を閉じました。これにより地域社会に影響がでているのは否めません。

しかし、今大牟田は石炭産業から発展した高い技術力と交通アクセスのよさから多くの企業に注目されています。

また市制80周年(平成9年)の年を大牟田市の「まちづくり実行元年」と位置付け、九州・山口の主要都市に約3時間で行けるとい地理的特性をいかし、「やさしさとエネルギーあふれるまち・おおむた」づくりを市民の皆さんとともに取り組んでいます。

三井カルタ歴史資料館

大牟田市立三井カルタ・歴史資料館は、日本のカルタ発祥の地を記念して建てられた大牟田市立三井カルタ記念館と郷土の歴史を伝えてきた大牟田市歴史資料館が統合し、平成18年4月1日に開館した文化施設です。

雅を伝える「歌カルタ」や当時の世相を反映した「いろはカルタ」など、約1万点の中から厳選したカルタと、市内の古墳から出土した副葬品や甕棺(かめかん)、三池藩時代の古文書など、郷土の歴史を物語る数々の貴重な資料を展示・公開します



石炭産業科学館



ダイナミックトンネル



<http://www.city.omuta.lg.jp/>

カルタ歴史資料館



巻揚機室の中にある、大きな大きな巻揚げ機や、独特のにおい。また高い立坑槽



巻揚機室



